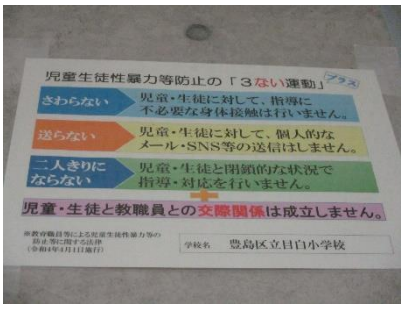
名古屋市等でおきた教員の性犯罪をうけて…目白小の取り組みについて訊きました

先日報道された、児童を盗撮した画像を SNS 上のグループで共有したとして名古屋市の小学校教員らが逮捕された事件は、私たち保護者にとっても大変衝撃的なものでした。この事態を受け、官房長官、文部科学大臣、こども政策担当大臣をはじめとする閣僚が相次いでコメントを発表し、専門家からは犯罪が起きにくい環境づくりの重要性が訴えられています。

言うまでもなく、大多数の教員は真摯に、そして献身的に教壇に立たれており、このような事件を起こす教員はごく一部であることは、PTA 会員の皆様も十分に承知されていることと存じます。

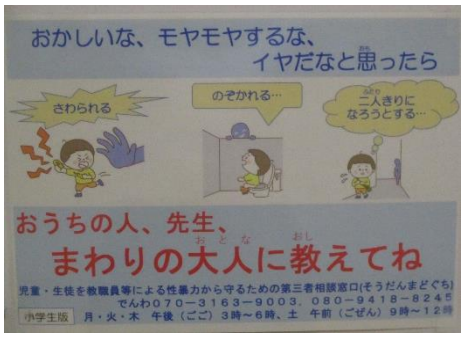
しかしながら、このような痛ましい事件が二度と起こらないよう、学校と保護者が連携し、子どもたちの安全を確保していくことの重要性を改めて感じております。

そこで、これらの事件を機に、目白小学校の子どもたちの安全に対する取り組みをより深く理解するため、名古屋副校長先生に、本校における安全対策の現状についてお話を伺いました。



――今回の事件を目白小の先生がたはどう受け止めたのでしょうか？　また、現場で何か変わったことはありますか？

まず保護者の皆様には、大前提として「目白小は大丈夫」だと、今後も私たちを信頼していただきたいです。
以前、“防犯についての話合い（ＰＴＡよりお知らせ①）”でもお伝えしましたが、これまで「子どもたちを守る」という防犯の観点から、教員たちは有事の際にすぐに連絡ができるよう、授業中でも携帯電話を持つようにしていました。
しかし、今回のような事件があると、保護者の皆様が不安に感じることも多々あると思いますので、事件の報道を受けてルールを改定し、7 月 1 日“国民の安全の日”に行われた「不審者対応訓練」においては、原則、教員は携帯電話などを持ち込まないようすることを校長から教職員に伝えました。また、どうしても授業で必要な時（ブルートゥースで音楽を流しながら体育のリズム運動をやる、音楽の授業で教材として使うなど）や校外学習などで連絡手段として必要な際には、との都度管理職の許可を得た上で持ち込むことがあります。多少授業に影響が出てしまうかもしれませんが、子どもたちには誤解を与えることのないよう心がけたいと思っています。



――体育やプールの着替え、更衣室についてはどのように配慮していますか？

男子児童については、教室の数の関係で各教室で着替えてもらっていますが、女子児童については１．２年生は生活科室、３～６年生はコミニケーションルームなど、各階にある特別教室を更衣室にしています。水泳時の着替えは学年で一斉に着替えるため、普通教室も更衣に使用します。そのため透明ガラスには目張りをしたり、入口を開けてもすぐに中がみえないよう衝立を置き、廊下から見えないところで着替えをするように指導しています。そこで声をかけるのは同性教員のみです。

――このご時世、男性教員が男子児童を…という報道も目にしますが、保護者としては先生方を信用するしかないと思っています。
逆に保護者に対して学校からお願いしたいことはありますか？

もし子どもたちから話が出たときは、その都度、溜め込まずに学校に話をしていただければ、すぐに対応します。担任でも、言いにくければ学年主任、それでも難しい場合は、生活指導主任、副校長、校長に相談してください。ただし、最初に話したように我々を信頼してほしいです。教職員への疑心暗鬼やいわれのない誹謗中傷は教職員を追い詰め、クラス崩壊や休職等につながり、最終的には子どもたちに影響が出てしまうことになります。

――プライベートゾーン(体の大切な場所)については、どのような教育をされていますか？

毎年水泳指導が始まる前に必ず説明をしています。ぜひご家庭でもしっかり話してほしいです。低学年などは教職員の膝や背中に乗ってきたり体にしがみついたりすることがあります。学校でもその都度お話ししますが、家庭でも「スキンシップは家族だけだよ。」と伝えてくださると助かります。

――ありがとうございます。今後とも子どもたちの安全を互いに見守っていければと考えております、PTA 活動へのご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

※SNS やブログ等での内容の投稿はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。